

第10回 市民会館名画劇場

開催日：平成22年（2010年）9月5日（日）

今回は、日本映画の量産時代に登場した監督たちが、喜劇映画のなかで新たな挑戦を試みた秀作を上映しました。

<上映作品一覧>

『おかしな奴』1963年／東映／110分

監督：沢島忠

出演：渥美清、三田佳子、南田洋子

『喜劇・大安旅行』1968年／松竹／94分

監督：瀬川昌治

出演：フランキー堺、新珠三千代、倍賞千恵子

『吹けば飛ぶよな男だが』1968年／松竹／91分

監督：山田洋次

出演：なべおさみ、緑魔子、犬塚弘

『あゝ軍歌』1970年／松竹／88分

監督：前田陽一 原作：早坂暁

出演：フランキー堺、財津一郎、倍賞千恵子

第10回市民会館名画劇場

平成22年**9月5日(日)** 下関市民会館大ホール

日本映画の量産時代に登場した監督たちが、喜劇映画のなかで新たな挑戦を試みた秀作を紹介いたします。

おかしな奴

(1963年 東映[東京] 白黒 シネマスコープ 110分)

脚本:鈴木尚之 監督:沢島忠

【出演者】

渥美清、三田佳子、南田洋子、加藤嘉、清川虹子、田中邦衛
佐藤慶、石山健二郎、十朱久雄、渡辺篤、春風亭柳朝



自ら「珍顔」を名乗り、戦後の落語界で爆発的な人気を誇った風変わりな落語家、三遊亭歌笑(1917~50)の短い人生を描いた東映作品。

喜劇・大安旅行

(1968年 松竹 カラー シネマスコープ 94分)

脚本:舟橋和郎 監督:瀬川昌治

【出演者】

フランキー堺、伴淳三郎、新珠三千代、笠置シズ子
倍賞千恵子、牧伸二、生田悦子



新婚カップルのあふれる和歌山県の紀勢本線沿線を舞台に、蒸気機関車の機関士と専務車掌という「鉄道一筋」の父子の恋愛騒動を描いた松竹喜劇「旅行シリーズ」(1968~72)の第1作。

吹けば飛ぶよな男だが

(1968年 松竹 カラー シネマスコープ 91分)

脚本:森崎東 脚本・監督:山田洋次

【出演者】

なべおさみ、緑魔子、犬塚弘、若原小雁、佐藤蛾次郎
有馬一郎、ミヤコ蝶々、小沢昭一



大阪の街を舞台に、やくざの幹部に憧れるチンピラと九州から出てきた家出娘の恋模様を描いた山田洋次監督の秀作コメディ。

あゝ軍歌

(1970年 松竹 カラー シネマスコープ 88分)

原作:早坂暁 脚本:満友敬司 脚本・監督:前田陽一

【出演者】

フランキー堺、財津一郎、倍賞千恵子、北林谷栄、城野ゆき
風間恵美子、大村崑、人見明、上田吉二郎



戦争中、精神障害の真似をしてわざと野戦病院に入り、死を逃れた二人の男は、その後、戦没者をまつる神社へ遺族を案内する怪しげな観光ガイドとして暮らしていた。その男たちのもとへお婆さん、未亡人、少女、ヒッピー風の男が次々と迷い込んでくる奇妙な生活を描いた作品。

■上映スケジュール (開場10:00)

●10:30~12:20「おかしな奴」 ●12:40~14:14「喜劇・大安旅行」 ●14:30~16:01「吹けば飛ぶよな男だが」 ●16:20~17:48「あゝ軍歌」

■入場料 1日券 500円 (全席自由、前売・当日同額) ※小学生以上有料

■無料託児サービス(予約制)

未就学のお子様を無料でお預かりするサービスを行います。安心して上映会をお楽しみください。ご希望の方は、8月29日(日)までに下関市民会館へご予約ください。

■プレイガイド (入場券発売日 7月17日(土))

下関市民会館、シーモール「ラン」、アブニール(菊川)、小倉井筒屋

- 主催 財団法人 下関市文化振興財団、文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンター
- 後援 下関市、下関市教育委員会、下関市文化協会、山口新聞社
- 協力 コミュニティシネマセンター